

施策番号	2004		
施策名	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用		
概要	地下鉄を市民生活やまちづくりに積極的に活用するため、市バスをはじめとした他の公共交通機関とのネットワークの強化、駅ナカビジネスの充実など、その魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と沿線地域の活性化を推進する。		
担当局・部室	交通局・企画総務部	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市高速鉄道事業経営健全化計画		

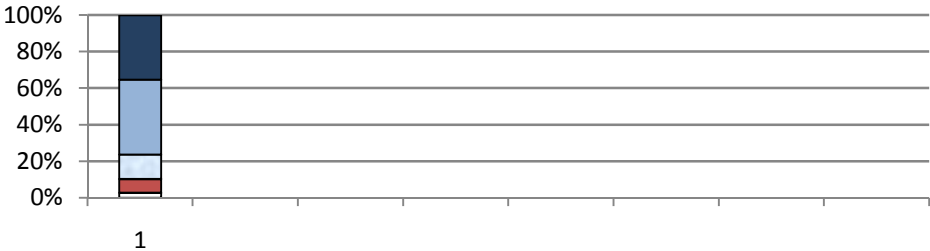
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地下鉄の旅客数(千人)	-	-	327千人	330千人	328千人	100.6%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	地下鉄，市バスは，市民生活に役立っている。	192	224	73	41	15	545	a	
		35.2%	41.1%	13.4%	7.5%	2.8%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						a	



- そう思う
- どちらかと言おうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言おうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	a	
(重み付けの理由) 本市のまちづくりをはじめ、あらゆる政策を総動員して実現を目指す1日5万人の増客は、将来にわたる地下鉄事業の安定的運営に向けた健全化策の最大の柱であり、客観指標による評価を重視する。						年度 -
(原因分析) ・客観指標評価については、京都市地下鉄5万人増客推進本部における全庁的な増客の取組や、「Kotochika(コトチカ)四条」や駅周辺の大型店舗の開業の効果もあって、お客様の数が順調に推移し、前年度の実績を上回る結果となったことによるものである。 ・市民生活実感評価については、ダイヤ改正や駅ナカビジネスの推進など、利便性向上に取り組んできた結果、市民生活を支える重要な公共交通機関として、地下鉄の一層の活用が図られていることによるものと考えられる。						年度 -

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	京都市高速鉄道事業	66,708,616	66,917,613	-	交通局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・積極的な駅ナカビジネスの展開などにより地下鉄の魅力を高めるとともに、地下鉄を基軸としたまちづくりを進め、公共交通優先の社会への転換を推進する。
--

施策名	2004	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用				
指標名	地下鉄の旅客数（千人）					
担当課	企画課		連絡先	8 6 3 - 5 0 9 4		
1 指標の説明						
地下鉄の1日当たりの旅客数						
2 指標の意味						
ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の発展に資する地下鉄1日5万人増客に向けた取組状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：旅客収入から算出した1日平均旅客数 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	327	330	3千人増	328	京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数増加見込み	100.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		375千人	30年		京都市高速鉄道事業経営健全化計画における旅客数増加見込み	
5 評価基準						
1日当たりの旅客数が a：331千人以上 b：329千人以上330千人以下 c：328千人 d：326千人以上327千人以下 e：325千人以下			6 基準説明			
			京都市高速鉄道事業経営健全化計画における各年度の旅客数の見込みについて、達成をcとし、2千人の増減の範囲をbまたはd、それらを上回る（下回る）増減をa（e）とした。			
7 評価結果						
						23
	-		-			b